

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                            |    |              |
|----------------|----------------------------|----|--------------|
| ○事業所名          | 児童デイサービスつむぎの里 児童発達支援「もこもこ」 |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 3月 13日               |    | 2026年 3月 19日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 10 | (回答者数) 10    |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 3月 19日               |    | 2026年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 7  | (回答者数) 7     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 4月 13日               |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                       | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|---|---|---|
| 1 | ・生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境であり、清潔であること。また職員配置は子どもの人数や特性に対し、適切であること。 | ・子どもの特性に応じて、写真・絵カードやブース等を使用し、視覚支援や環境構成を行っている。また、刺激となるものを減らし、落ち着いて過ごせるようにしている。毎日降園後に安全な消毒液を用いて清掃を行っている。<br><br>・職員は子どもの人数や特性に応じ、適切に配置している。 | ・引き続き、構造化された環境や清潔な空間作りを意識しながら、環境整備に努めていく。     |
| 2 | ・地域の関係機関や、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士）の助言をもらいながら療育を行っていること。             | ・専門職からの助言を受けながら日々の活動プログラムを策定し、適切な療育が行えるようにチームで取り組んでいる。  | ・引き続き、専門職の助言を受けながら、適切な療育ができるように、プログラムを検討していく。 |
| 3 | ・子どもたち一人一人に応じた活動プログラムを設定していること。                                   | ・子どもたちの特性や今興味のあるもの、好きなものを取り入れる等、教材や玩具を手作りし、子どもたちが楽しく取り組めるように工夫している。   | ・引き続き、子どもたちが楽しく取り組めるように工夫していく。                |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること            | 事業所として考えている課題の要因等                                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知が不十分であること。 | ・マニュアルを作成し、訓練等を行っているが、保護者向け、従業員向けに再度内容を周知することが必要である。 | ・保護者向けには保護者会や面談、従業員には会議を利用して、内容の確認や周知をしていく。また訓練も地震・火災だけでなく、水害・不審者等あらゆる状況を想定して実施していく。 |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |